



わくわく園だより



TEL (84) 0023
(84) 2350

六郷わくわく園 (R6.1.25発行)

今年の冬は、気温が零下となって樹氷が見られたり、一気に降り積もった雪で思いっきり雪遊びをしたりと、様々な冬景色を見たり遊んだりして楽しんでます。今後も天気の良い日は、散歩や雪遊びを通して、雪国ならではの体験を大切にしていきたいと思ひます。

今年度もあと2か月です。年齢に応じてできることがたくさん増えてきていますので、子ども自身も「大きくなった」という実感がもてるように丁寧に言葉がけをしながら、進級や卒園へスムーズにつなげていきたいと思ひます。



小正月行事に祈りをこめて…

★2日(金)豆まき

節分にちなんで、鬼や豆まきについて絵本や紙芝居のお話の世界を通して知らせています。この日は楽しい豆まきにしたいと思ひます。

★7日(水)もちつき・愛情弁当の日

5歳児がもちつきをして、そのお餅をいただく予定です。お子さんによっては、お弁当の量を少なめにしてもいいかもしれません。一年間、愛情いっぱいのおいしいお弁当をありがとうございました。

★17日(土)以上児保育参観

詳細については、後日配布します。

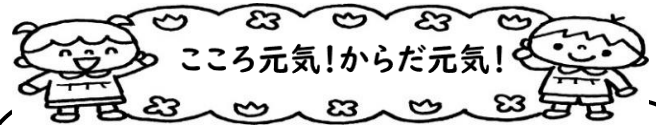
★マスクの予備を2~3枚お願いします。

感染症が発生したらすぐ付けられるように、予備のマスクを通園カバンに入れてください。

★融雪剤で遊ばないようにしましょう

玄関前や駐車場には、凍結防止で融雪剤(白くて小さい粒です)を蒔いています。集めたり口に入れたりしないようにしましょう。

昨年までは新型コロナ・集中豪雨・熊出没など、たくさんの「まさか」なことが起きて、子どもたちの生活や遊びにも影響がありました。今年は、のびのびと遊べるようにと願うばかりです。園では、今年も小正月の天筆に願い事をこめ、竹打ちの際に奉納する予定です。4・5歳児が絵や字で願いごとを書いて天に届くようにしたいと思ひます。



食べることが大好きな1歳児うさぎ組さん。手づかみやスプーンで豪快に食べています。食べ物を口に入れすぎたり、こぼしたりする経験から、ひと口の量が分かったり、手や食具の使い方を獲得したりします。食べこぼしは当たり前と思ひながら見守り、床には新聞紙やレジャーシートを広げて片づけやすいようにするなど、お家でもぜひ、自分で食べる経験を大切にしてくださいね。



スマイル子育て

むかしむかしの昔話をしよう!

「むかし、むかし、あるところに…」から始まる昔話。今の子どもたちにも楽しんでもらいたいものです。昔話に興味をもって親しませていくには、ストーリー展開を楽しむタイプのお話ではなく、繰り返しや一つ一つの言葉を楽しめるようなお話を選ぶといいでしょう。また、季節や行事に合わせるのも効果的です。節分にちなみ、鬼が登場するお話では、「ももたろう」や「きんたろう」、冬にちなんだお話は「てぶくろ」、繰り返しが楽しいのは「お

むすびころりん」「3匹のこぶた」*
* 「大きなかぶ」などがあります。
* ぜひ、ご家族で昔話を楽しんでみてくださいね。



ほっこりエピソード

「赤ちゃん、生まれた?」(4歳児)

お迎えの時間、お家の人と手をつないで廊下を歩いていたM君。目が合った看護師に「赤ちゃん生まれた?」と質問していました。

実は、今年4歳児きりん組担任の土田俊弥先生のご家庭で待望の赤ちゃんが誕生しました。俊弥先生、おめでとうございます。そのビックニュースに4歳児学年は大賑わいになっており、子どもたちの中では、「赤ちゃん」が身近な話題になっているようです。「他に赤ちゃんが生まれた人はいないかな?」と、情報収集をしている姿にほっこりさせられました。

これを機会に、0歳児のひよこ組の小さいお友達とも触れ合えたらと考えています。